

第6次斜里町総合計画策定委員会 第6回部会長会議 記録

- 1、日 時 平成25年5月30日(木) 18:30~21:40
- 2、場 所 ゆめホール 会議室 3
- 3、出席者 別紙にて

4、内 容

- ・各部会の経過報告、資料3 資料4 資料5を用い今後のスケジュール、計画体系について議論を行った。
- ・第3回全体会議で示した資料10「暫定様式」を6月末目途に一旦埋めてもらいその後、部会で揉んでもらい次々回の部会長会議(7月5日開催予定)で共有する事となった。
- ・基本目標等の文言整理については、基本目標に関しては語尾を「～をめざす」に統一する事、政策に関しては語尾を「～まち」にする事は遠慮して頂き「～の推進」「～の整備」とうの語尾にする事とした。
- ・基本施策の語尾は、統一をする事まではせずに、語尾の類似表現を考えてもらい、可能な限り語尾の種類を減らす事を検討する事となった。
- ・計画体系については、「基本理念」「基本テーマ」「基本目標」の関係性については、多くの時間議論を行ったが、結論は出ず事務局にて再検討し再度提示する事となった。(基本テーマの文言を含め)

●会議内容<要旨>

1.開会

- ・門間副委員長の進行で行われた。

2.委員長挨拶

- ・一つの区切りとしていた、6月を迎えようとしており、作業も佳境に入ってきている。本日の議論にスケジュールの件など重要な案件ばかりなので、宜しくお願い致したい。

3.経過報告

(1) 部会長会議、各部会の開催結果について

- 事務局より、会議結果記録(資料1~2)の説明を行い、その後各部会長より経過報告を行った。
- みどり部会(下山部会長)
 - ・5/22に前回部会を開催した。部会では、総合計画に環境基本計画を落とし込む作業を行った。そこで、くらし部会への移管を希望する項目が出てきた。環境基本計画については、5項目中4項目の議論が終了し、今後1項目の議論と、精査作業を行っていく。
- しごと部会(高橋部会長)
 - ・前回部会長会議からタイトなスケジュールで部会を開催してきている。前回部会は深夜まで議論し何とか4つの政策を挙げるとこまでいきついた。従来の形を気にせず、作成作業を行ってきた。部会で「基本理念」「基本テーマ」について考えたが、「基本理念」につながる「基本テーマ」が「政策」と乖離してしまう感覚があったが、議論し何とか形にした。今回の部会長会議をへてまた部会議論を行う予定である。
- まちなみ部会(元木部会長)
 - ・「政策」についての議論、落とし込みは終了し、次回から基本施策の議論・精査を行う。分野が多いので絞り込みの作業も同時に行っている。例えば、10の項目がでたら、8の項目まで絞

るといった作業である。今後重点施策についても議論を行う予定である。

○くらし部会（戎居部会長）

- ・前回までに計画体系は埋まっていたが、部会長会議の結果をうけて部会議論を行っている。今後単位施策について議論を行うが関連して上位項目も影響が出てくる可能性がある。

○いきいき部会（梅村部会長）

- ・基本目標に「いきいき」という文言をいれて整理をした。政策の文言も整理した。政策それぞれの頭文字をつなげると「いきいき」と成るようにも工夫した。基本施策の国保病院の所は「町民も一緒に」の思いをこめた表現にした。

○まなび部会（近藤部会長）

- ・当初、政策が4つになっていたが、絞って3つで構成した。「地域」をキーワードに議論してきた。また、基本目標は「まちづくりが」目標ではなく「まちにする」事が目標なので語尾を「まちづくり」という表現はしていない。まなび部会は単位施策から議論を始めているので今後の議論は比較的早く進行すると思う。

○ちょうみん部会（武山部会長）

- ・ちょうみん部会は早くから、計画体系に入れていたので、前回部会で、委員それぞれに「暫定様式」を埋める宿題を出している。ひとり1つの基本施策について、記述してもらっている。次回部会でこれを議論する事としている。

4.議 事

(1) 今後の検討スケジュールについて

事務局より資料3を用い、当初予定から3ヶ月ずらしている事等を説明した。

<出された主な意見>

- ・策定委員会は提言書にまとめるが、どの程度までまとめる必要があるものか。
→単位施策までの記載が必要となる。1つの政策に対し1~2ページの量の記載が必要である。また部会で単位施策について議論し、部会長会議に持ち寄り議論を行いその結果を部会に持ち帰り再度議論という形になると思うので、後段で議論する予定となっているが、統一した文言で進めていきたい。
- ・単位施策は「暫定様式」の事で、部会でそれぞれ仕上げるものであるか。
→その通りであり、単位施策は事業としてとらえても構わないと思う。また、作業を進めていく際に指標化の問題も出てくると思うが出来るもの、出来ないものがあるので重要度等を勘案し進めていく方が良いのではないか。
- ・ちょうみん部会は「暫定様式」に入っているが、現状や問題、課題などの区別が難しいとの意見も出ている。
→「暫定様式」はあくまで暫定であり、他市町村の計画を見て計画書に起こす時に必要な事柄を網羅できる内容にした様式となっている。あくまでも「暫定様式」なので、あまりたかく考えず進めていってほしい。
- ・他の部会の施策等を見て自分の部会の議論をしていく時間が無いので、部会として施策等を出してはいるが、果たして本当に良いのかとの思いがあるのは確かである。どこかで揉んでもらう場所が欲しい。
→部会長会議でも、部会の議論が見えづらいのも確かであり、部会議論を経て挙がってきているのでそれなりの思いや、自負があると思うのでなかなかいじりにくい所でもある。
- 単位施策は具体的な話であるので議論しやすいのではないか。
- しごと部会では、今後オブザーバー（WGメンバー等）を招く事も考えている。
- 部会議論の中で論点がズレている時など解らないまま進んでいる可能性も有るので、オブザーバーなどの参加をお願いする事となると思う。委員もコンサルのようなプロではないので、自

信が無いのは確かである。

→今後全体会で各部会から出てきたものを揉むこともできるのではないかな。

→時間的に、各単位施策 10 分とみても、70 項目以上あるので 10 時間以上かかるので現実的ではないのではないかな。

・部会に行政 WG メンバー等に対し参加要請しても差支えないかな。

→当初からも、資料提供や参加要請をしてくださという姿勢は変わらないので、して頂きたい。

・みどり部会は、環境基本計画の関連もあり、行政委員にたたき台を作成してもらい、それについて議論し、修正や加除等の作業を行ってきた。専門分野になると行政委員の力が必要となるのは確かである。

→行政側（行政 WG）に丸投げして、作ってもらうのも手段としてはあるが、今回は策定委員会方式で作成する事としているので、部会で作り上げたものを、WG にぶつけるのがベストではないかな。

・単位施策を共有する時期はどうしたら一番部会が進めやすいかな。

→計画完成間際より、早い段階で共有し、項目が重複など類似している所の統合などの調整もする必要があるので、早めの時期が良いのではないかな。

→やはり全体会議等での議論は無理なので、出そろったところで各部会に配布し議論してもらうのが時間的にも良いのではないかな。

※各委員や部会で暫定様式に一旦 6 月末までに落とし込んでもらい、その後部会で議論しある程度落ち着いたから、次々回の部会長会議で共有する事とした。

(2) 計画体系の調整について

事務局より資料 4 資料 5 を用い、基本テーマの考え方、前回からの体系の変更点等を説明した。

(基本目標を包括する目標が基本テーマである体系となっている)

<基本テーマに関する主な意見>

・先送りにしてきていたが、そろそろ決めないといけない時期である。

・基本目標を基本テーマとつなげるために、語尾を調整しているので基本テーマが変更になると基本目標に影響が出てくる。

・基本テーマについては部会では議論をほぼ行っていない状況ではあるが、基本テーマの位置付けに違和感がある。基本目標と基本テーマの関係に違和感がある。テーマと目標の関係性、必要性を含め議論が必要ではないかな。テーマを総論の中で記述などの方法でも良いのではないかな。

→基本テーマを総論等で記述するだけとはならないのではないかな。

・テーマについては、住みやすさを追求する事の意味であると部会で説明しているだけであり議論などは行っていない。

・基本テーマを入れる事には抵抗はないが、現在の位置や関連性では中々理解しにくいのではないかな。

・テーマについては町長の意見を聞いてみてはどうか。

→我々は策定委員であり、僕らの意見を提言書に盛り込み提言しなくてはならないので、町長の意見に従うのではなく、策定委員会としての答え、見解を示さなければならない。

・基本理念と基本テーマの関係性が解りにくいので、理念とテーマを切り離して表現してみるのはいかがであろうか。「みどりと人間の調和」と「幸せを実感」のつながりが解りづらいのではないかな。

・「みどりと人間の～」は不変のものであり、基本テーマは第 6 次計画だけの文言であり、切り離す体系をとれば解りやすいのではないかな。

・基本テーマの「幸せを実感～」は基本目標にあっても良い文言である。

・基本テーマではなく、第 6 次計画のサブテーマの扱いにしてはどうか。

・基本テーマの文言であるが、「～まちづくり」を「～まち」にする事で、基本目標の文言との

整合が図れるのではないか。

- ・資料4で基本理念と基本テーマがつながっているが、基本理念は総合計画を超えた斜里町としての不変の言葉なので、繋がりを消すことによって整理できないか。
 - ・基本テーマの説明を記述するのであれば、繋がりが（理念・基本目標）が見えやすいのではないか。
 - ・基本テーマと基本目標との繋がりが説明が難しいのではないか。「幸せ」の文言が重たい感じがする。「幸せ」は抽象的で主観的なものなので難しいと思う。
- 逆に、抽象的でとらえようのない言葉なのでそんなに気にしなくていいのではないか。

※議論の結果、体系に対する明確な答えはせず、事務局にて再度整理調整し提示する事とした。

<文言の表現の統一化に対する主な意見>

○基本目標に関するもの

- ・基本目標の語尾はそろえた方が見やすいのではないか。
 - ・語尾は所詮言葉づかいなので、統一しても良いし、しなくても良いのではないか。そろえる事で見やすくはなる、そろえない事で表現の力強さが出るのも確かである。
 - ・第5次計画は、語尾を統一している。表現を少し変えるだけで、思いを変えるわけではないし、テクニカルな問題なので、そろえるのであれば語尾を変える事に対し問題は無い。
 - ・基本目標は「まちづくりが」目標ではなく「まちにする」事が目標なので語尾を「まち」という表現ではどうか。
- 基本テーマが「～まち」にする事で基本目標は「まちづくり」でも整合は取れるのではないか。
- ・語尾で力強さが変わってくる。力強さを求めるか、表現の幅を求めるかで語尾が変わってくる。

※議論の結果、部会長の総意の元、委員長に決定を委ね基本目標の語尾を「～を目指す」とする事とした。

○政策に関するもの

- ・部会で類似の表現を検討しその後調整した方が良いのではないか。
 - ・第5次計画でも統一をはかっているものではないと思うので、厳密に統一する必要はないのではないか。
 - ・問題は「まち」で終わっている所なのではないか。
 - ・政策は行政で言うところの目的にあたる場所だと思うので、表現が目的にあてはまっているならば問題は無いのではないか。
 - ・政策の捉え方のコンセンサスをもう一度とった方が良いのではないか。
- 政策は基本目標を網羅する幹となるもの、多少の表現の強弱はあるが、文言で言えば「まち」で止まっているのと「～整備」は別物である。

議論の結果、語尾の統一を図ることはせず、「まち」で終わっている所は「～整備」や「～充実」といった表現に変える事となった。

○基本施策に関するもの

- ・いきいき部会の「～国保病院」が気になる

※特に修正の依頼等はない

<政策の本数に係る主な意見>

- ・職員策定委員会で政策は2～4本が妥当との結論がでた。
- しごと部会は前々回の部会長会議で2～5本の政策数の範囲で作成するとの結果をうけて議論を行ってきた。

- ・くらし部会の政策 13 と 14 を統合して 1 つの政策にする事は出来ないか。くらし部会に道路交通網が入っているが分野が違ってくるのではないか。
 - ・まちなみ部会とくらし部会の基本目標が類似している。一緒になれる可能性があるのではないか。
- 第 5 次計画から部会が一つ増えたのは、まちなみ部会とくらし部会を分けた事によるものではないか。
- 扱う分野が多いため分割した経緯がある。
- ・策定委員の我々が類似していると感じているのであれば、一般の町民はもっと感じるのではないか。
 - ・イメージではあるが、まちなみ部会は、景観などのハード面、くらし部会は生活などのソフト面を扱う部会であるとのイメージがある。
 - ・まちなみ部会とくらし部会の基本目標を 1 つにしたら問題はありますか。
- 問題はないと思う（まちなみ部会長）
- ・今すぐ統合する、しないの話ではなく、単位施策の作業になっていけば、統合出来る所などが見えてくるのではないか。同じ事業などが出てくるのではないか。作業を進めながら、統合の可能性をしてみるのも良いのではないか。
 - ・他の部会間でも、重複するものが出てくると思うので、作業を進めながら統合等への調整をするのが良いのではないか。
 - ・ちょうみん部会の基本施策において、「定住」の分野「交流」の分野、「行政運営」分野で多少の本数の変更の可能性はある。

議論の結果、くらし部会の政策の本数に関しては、本日の会議で結論は出さず、今後の作業を進めながら、統合等の可能性を見つつ調整する事となった。

<みどり部会からくらし部会への項目遺移管に係る主な発言>

- ・野犬や墓地などはくらしに係る事柄なので、くらし部会での扱いになるのではないかと議論が部会で出たため、今回の提案となった。逆に水道の分野はみどりではないかとの意見もあった。
- 野犬や墓地は衛生面・環境の関連が強いためみどり部会の所管で良いのではないか。また、決してみどり部会で水道の事を単位施策等で触れてはいけないという事でもないと思う。
- ・今後各部会単位施策を議論するにあたり、他部会の方が関わりが深い事項等が出てくると思うが、今後調整し進めるべきである。

(3) その他

- ・そろそろアドバイザーに来て頂いて、現状を見てもらい、助言をもらっても良い時期ではないか。
- 事務局で山崎先生と調整してみます。

○次々回の部会長会議の日程を 7 月 5 日 18:30～ ゆめホール知床 会議室 3 にて開催する事を決定 この会議において、「暫定様式」を持ち寄ることとした。

○次回部会長会議は予定通り 6 月 7 日 18:30～ ゆめホール知床 会議室 3 にて開催

以上

(21:40 終了)

第6次斜里町総合計画策定委員会 第6回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	馬場 龍哉	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考